

## 2024年度(第6期) 事業報告書

(令和6年6月1日から令和7年5月31日)

1.学術集会の開催	第35回日本サイコネフロロジー学会学術集会を下記の通り開催した。 会 期: 令和6年7月27日～28日 会 場: ホテルハマツ(福島) 大会長: 鈴木一裕先生(医療法人援腎会)
2.学術集会の運営	第36回学術大会の下記の通り開催する為、準備を進めた。 会 期: 令和7年7月26日～27日 会 場: 大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 大会長: 藤田譲先生(医療法人仁真会 白鷺病院医療福祉科)  第39回(2028年)学術大会大会長を選出した。 令和7年6月14日の理事会決議にて 大会長: 櫻田勉先生(聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科)
3.学術誌等の発刊	第3号、第4号の発行準備を進めた。
4. 研究の奨励及び業績の表彰	(1)春木賞受賞者: 該当者なし (2)野原賞受賞者: 種本陽子氏(聖路加国際病院 心療内科)
5.各種会合	総会: 令和6年7月27日 理事会: 3回開催(メール理事会含) 委員会: 各委員会にて随時開催
6. 会員管理	新会員管理システムへの完全登録、年会費徴収を行う。
7.診療ガイド作成	1)「サイコネフロロジー診療ガイド」(2024年4月刊行)の学会内外への周知 a.第35回学術集会での紹介(広報委員会企画シンポジウム) b.学会ホームページでの紹介 c.関連学会(腎臓病領域、精神科・心療内科領域)への周知 2)「サイコネフロロジー診療ガイド」の有効活用のための方略の検討
8. 広報	1)会員数獲得を目指して a.研究会・勉強会支援のための支援を可能にする会員数増加 b.会員が興味のあるアイテムについての啓発機会の設定 2)学会参加人数増加を目指したプログラム支援 a.学会参加者が聴講したい内容調査実施し、次回の学会プログラムへの提言を行う 3)ホームページコンテンツ充実(総務委員会との連携) a.アクセス数増加のためのシリーズ化した企画立案(診療ガイドとの連携) 4)学会報告書(ニュースレター発行)
9. 総務	1)本会事業見直しに伴う委員会組織・業務の整理および各委員会の活動支援、調整 2)理事会、社員総会、会員総会の運営補助 3)会員獲得・会員情報管理に関する事業 4)規定類の評価・見直し 5)若手研究者の研究助成事業の実施・評価 6)認定公認心理師の公募及び認定
10.春木賞	春木賞の選考、表彰、講演を企画
11.臨床研究推進	1)睡眠障害に関わる臨床研究の着手 2)精神心理にかんする臨床評価指の普及啓発活動
12.移植関連	1)移植後透析再導入例の心理的諸問題の共有 解決手段を得る 2)生体ドナーの透析導入例の心理的諸問題の共有 解決手段を得る 3)ノンアドヒアランスの要因に対する解決手段を得る 4)夫婦間移植における提供側優位性における夫婦間葛藤の分析を図る 5)海外渡航移植の診療方法においては、医療者側の葛藤を踏まえ、解決手段を得る
13.倫理	1)透析、移植、CAPDにおける医療倫理的問題を検討する機会を大会や学会に提示する 2)今日生じている、腎疾患関連の医療現場における諸問題を倫理的側面から検討する
14.編集	1)日本サイコネフロロジー学会会誌年1-2回発刊(第2巻 第1号の発刊、第3巻第1号の発刊準備) 2)投稿・査読の運用システムの評価と改善 3)査読委員体制強化

	4)投稿原稿の活性化へ向けての対策の検討 a.投稿規定の確認 b.学会誌オンライン化の充実 5)会誌作成方法の見直し(委託業者の検討)
--	--

第39回(2028年度)学術集会 大会長 ※令和7年6月14日の理事会決議

大会長:櫻田 勉 先生(聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科)

今後の学術集会について

第37回大会(2026年)

会 期:2026年7月11日(土)・12日(日)

会 場:軽井沢プリンスホテルウエスト

大会長:佐藤 純彦 先生(クレドさとうクリニック)

第38回大会(2027年)

会 期:2027年7月24日(土)・25日(日)

会 場:奈良春日野国際フォーラム

大会長:米田 龍生 先生(奈良県立医科大学 泌尿器科・透析部)